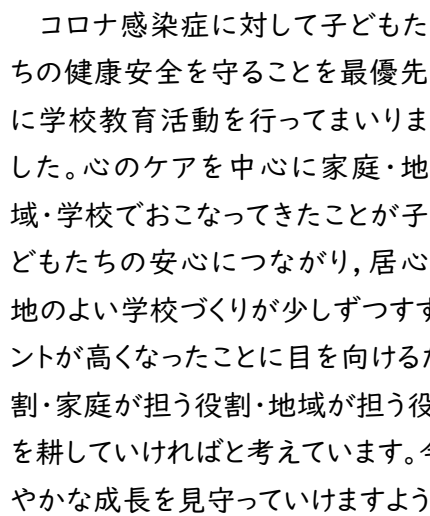




令和3年2月吉日
京都市立大將軍小学校
校長 南 宏樹

児童		児童 (%)															
		よくできている						できている			あまりできていない				できていない		
		1・2年	3・4年	5・6年	1・2年	3・4年	5・6年	1・2年	3・4年	5・6年	1・2年	3・4年	5・6年				
1	自分からすすんであいさつをしている。	R2 1学期	54	65	32	34	31	58	12	4	10	0	0	0	0		
		平均	50			41			9			0					
		R2 2学期	74	63	33	17	31	54	10	6	13	0	0	0			
2	友だちをたいせつにし、なかよくしている。	R2 1学期	71	71	42	20	29	48	7	0	10	2	0	0			
		平均	61			32			6			1					
		R2 2学期	81	67	54	17	33	39	2	0	7	0	0	0			
3	こまったことがあれば、先生に相談している。	R2 1学期	59	36	22	20	38	43	17	26	33	5	0	2			
		平均	39			34			25			2					
		R2 2学期	61	40	24	17	44	37	20	17	33	2	0	7			
4	あさごはんをたべ、学校におくれないように家を出ている。	R2 1学期	73	76	67	20	10	16	7	12	16	0	2	0			
		平均	72			15			12			1					
		R2 2学期	69	77	57	12	13	30	14	10	13	5	0	0			
5	わすれものをしないで、学習の準備ができています。	R2 1学期	56	20	24	18	67	62	23	10	14	3	2	0			
		平均	34			49			16			2					
		R2 2学期	54	27	30	34	58	52	12	15	17	0	0	0			
6	係やそうじ、給食当番のしごとを最後までおこなっている。	R2 1学期	78	57	46	20	43	46	2	0	8	0	0	0			
		平均	60			36			3			0					
		R2 2学期	83	65	46	12	35	46	2	0	9	2	0	0			
7	はきものをそろえている。	平均	65			31			4			1					
		R2 1学期	59	40	25	27	48	51	12	10	22	2	2	2			
		平均	41			42			15			2					
8	自分のよいところが言える。	R2 2学期	63	44	33	20	38	30	15	15	33	2	4	4			
		平均	47			29			21			4					
		R2 1学期	46	25	14	13	31	25	31	29	45	10	16	16			
9	授業がよくわかる。	平均	28			23			35			14					
		R2 2学期	62	31	16	12	46	27	14	17	40	12	6	18			
		平均	36			28			24			12					
10	授業中、人の話をさいにまでしっかり聞いている。	R2 1学期	61	67	48	24	29	42	15	2	8	0	2	2			
		平均	59			32			8			1					
		R2 2学期	64	60	50	26	30	44	10	11	4	0	0	2			
11	授業中、自分からすすんで発表している。	平均	58			33			8			1					
		R2 1学期	61	34	28	22	57	54	15	9	16	2	0	2			
		平均	41			44			13			1					
12	家庭学習(しゅくだい)を自分からすすんでしている。	R2 2学期	64	58	31	21	38	51	12	4	18	2	0	0			
		平均	51			37			11			1					
		R2 1学期	54	31	22	20	31	16	15	27	46	12	10	16			
13	本をよく読んでいる。	平均	36			22			29			13					
		R2 2学期	57	46	17	21	29	20	17	17	39	5	8	24			
		平均	40			23			24			12					
14	大將軍の地域のことが好きである。	R2 1学期	66	29	44	22	47	30	10	22	20						

変化の多い一年を過ごした子どもたちですが、ご家庭でも多くのサポートをいただいたことと思います。また、地域におかれましては、見守り活動等、子どもたちのためにできる活動を取捨選択いただき、取組をすすめていただきました。ここでは、児童アンケートと保護者アンケートの結果を中心に年間の振り返りをさせていただき、成果と課題を共有できればと考えています。

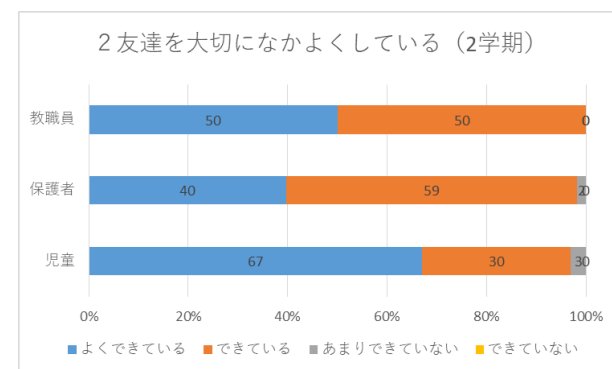
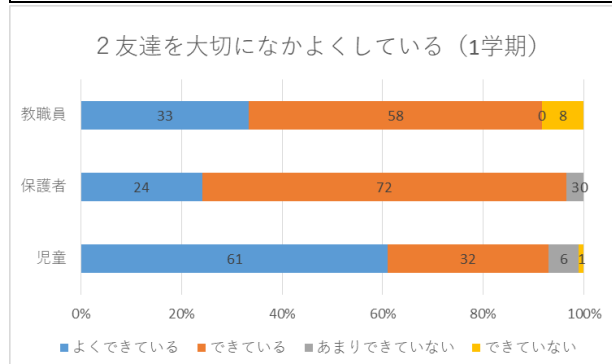


教職員		教職員（％）				
		よくできている	だいたい	あまり	できていない	
1	児童が進んで挨拶できるように教職員自らも挨拶をしている。	R2 1学期	64	36	0	0
		R2 2学期	54	46	0	0
2	児童が友達を大切にし、仲良くできる学級づくりに取り組んでいる。	R2 1学期	33	58	0	8
		R2 2学期	50	50	0	0
3	児童に寄り添い、思いを傾聴している。	R2 1学期	36	64	0	0
		R2 2学期	46	46	8	0
4	児童が朝食をとり、遅刻することなく登校できるように働きかけている。	R2 1学期	20	70	0	10
		R2 2学期	0	89	11	0
5	児童に忘れ物なく学習準備ができる習慣が定着するように働きかけている。	R2 1学期	8	83	8	0
		R2 2学期	44	56	0	0
6	児童が係や当番の仕事を最後までできるように働きかけている。	R2 1学期	17	75	0	8
		R2 2学期	40	60	0	0
7	児童がはきものをそろえるように働きかけている。	R2 1学期	33	58	0	8
		R2 2学期	20	60	20	0
8	児童の良さを積極的に見つけ、認め、褒めている。	R2 1学期	29	71	0	0
		R2 2学期	46	55	0	0
9	児童が良くわかるように学習課題をまとめ、ふりかえりをおこなっている。	R2 1学期	0	100	0	0
		R2 2学期	0	100	0	0
10	児童が授業中、人の話を最後までしっかり聞くように働きかけている。	R2 1学期	15	85	0	0
		R2 2学期	10	90	0	0
11	児童が授業中、進んで発表できるように働きかけている。	R2 1学期	15	69	15	0
		R2 2学期	0	100	0	0
12	児童に家庭学習の習慣が定着するように働きかけている。	R2 1学期	17	58	17	8
		R2 2学期	22	78	0	0
13	児童に読書の習慣が定着するように働きかけている。	R2 1学期	36	27	27	9
		R2 2学期	0	89	11	0
14	大將軍地域の良さを学べるような教材・単元づくりをしている。	R2 1学期	9	46	27	18
		R2 2学期	0	50	20	30

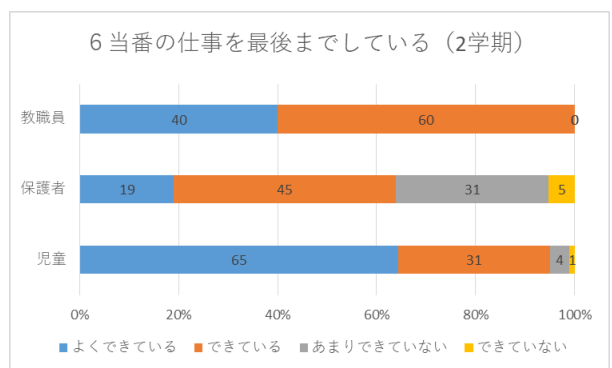
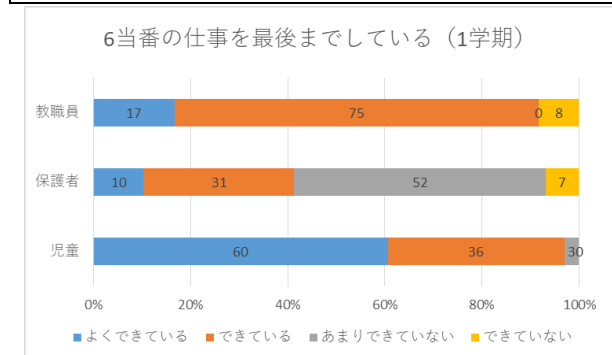
地のよい学校づくりが少しずつすすんでいると考えております。単に「よくできている」というポイントが高くなったことに目を向けるだけでなく、「できていなかった」ことにも目を向け、学校が担う役割・家庭が担う役割・地域が担う役割を意識し、それぞれの立場で子どもたちの成長をささえる土壌を耕していければと考えています。今後もコロナ感染症が収束することを願いつつ、子どもたちのすこやかな成長を見守っていかますようにご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

<項目ごとに振り返ります>

2 友だちをたいせつにし、なかよくしている。



6 係やそうじ、給食当番のしごとを最後までおこなっている。



2の項目では、1学期に比べ、教職員・保護者児童の「よくできている」割合が増えています。

合わせて「できていない」と答えた割合が低くなっています。

学校では、道徳や学級活動の時間、休み時間などに友達とのかかわりについて振り返る時間をとっています。おうちでもきっと子どもたちにたくさんのお声かけをいただいているのではないのでしょうか。

学校が楽しいと答える子の多くは学校において人間関係が良好な状態にあると言えます。逆に楽しくないと答える子どもの中には人間関係で悩んでいる子どもも少なからずいます。

今後も子どもの様子をしっかりと見守り、保護者の方と連携を密にしていきたいと思います。

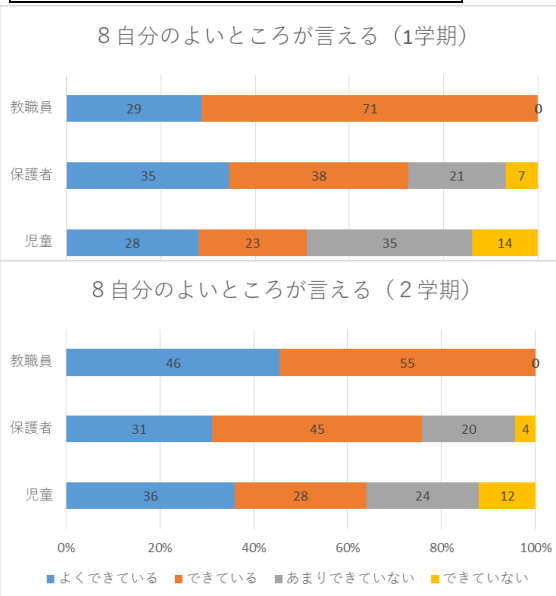
6の項目でも、2と同じく教職員と保護者の「よくできている」の割合が高まっています。子どもたちのポイントも5ポイントほど高くなりました。学校と保護者の働きかけが子どもたちに大きく影響を及ぼしていると感じます。

学校では給食当番、掃除当番、係活動などで一人一役何かの仕事をもつことで責任感を養ったり、人の役にたつという自己有用感を高めたりする取組を進めています。

ご家庭でも、学年の発達段階に合わせたお手伝いを子どもたちにさせていただいていることと思います。その中で「ありがとう」「すごく助かったよ」など、子どもたちの活動のエネルギーとなる言葉をたくさんかけることで、さらに子どもたちの自信も高まることと思います。



8 自分のよいところと言える。

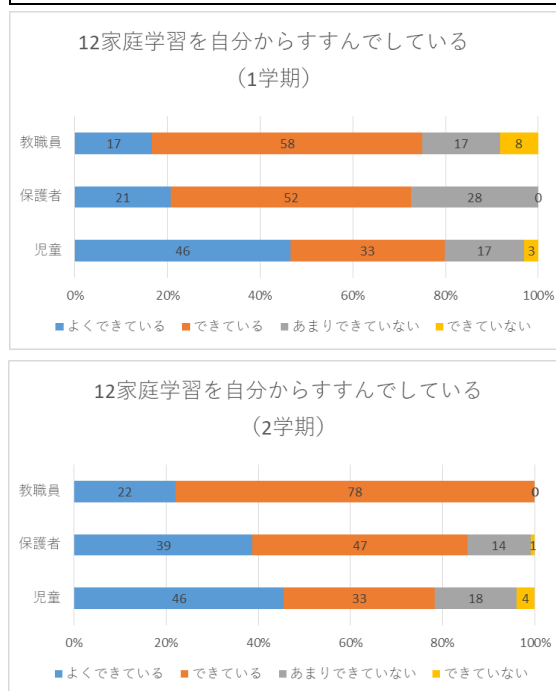


8の項目は、学校の課題として抱えている子どもたちの自尊感情が大きくかかわっています。1学期の児童の結果では5割ほどの子どもたちが「よくできている」「できている」と答えていましたが、2学期は6割を超える結果となっています。

まだまだ自信をもてずにいる子どもたちもいるかと思いますが、前述の項目と合わせて、自分が大切にされている、誰かの役に立っているという実感は自分のよさや友達のよさに気づく力とかかわっています。学校ではいいところ見つけをすることで自分や友達のよさを見つけている子どもたちがたくさんいます。

ご家庭でも家族のいいところを伝え合うような機会をもつことで、これまで気づけなかった自分のよさに気づける子どもが増えていくと嬉しいです。

12 家庭学習を自分からすすんでしている



12の項目は教職員・保護者の「よくできている」「できている」の割合が増えているにも関わらず、児童の割合に変化はありませんでした。

本校ではどの学年でも家庭学習(自主学習を含む)が毎日あります。宿題は担任より毎日出されていますが、子どもたちにとっては受動的な学習となっているのではないのでしょうか。宿題に対し、自主学習はその内容を個人で選択したり、自分が調べたいことや好きなことを基準に探求したり調べたりする自主的自発的な学習をさせています。今回の結果を見る限り、子どもたちの中でまだまだ自主的自発的な学習をすすめるためには、学び方の工夫が必要であるように感じます。今後も家庭と学校と連携しながら家庭学習をすすめていければと思います。



「自分も友達も大切にできる。安心と信頼の学校づくり」を目指し、今後も努力してまいります!